



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

平成27年1月27日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会

〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL (0767) 29-8310 (直通)

FAX (0767) 29-4623

■編集

宝達志水町議会

広報編集特別委員会

第39号



宝達志水町消防団出初式



■ごあいさつ 2

■議会組織が決定！ 3

■26年第4回定例会 4

■26年第5回臨時会 5

■一般質問(7名) 6

■委員会ノート 9

■特別委員会調査報告 11

■町議会日誌 12



守田幸則



北本俊一



金田之治



小島昌治



北 信幸



近岡義治



杉本久実男



寶達典久



久保喜六



土上 猛



柴田 捷



林 一郎

ごあいさつ

宝達志水町議会議長

林 一郎

二〇一五年の年頭にあたり、町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新年とともに当町議会も新たな議員体制で、四年間の任期がスタートしました。議員定数を二人削減し、今任期より十二人での議会運営となりますが、今まで以上に、各々が議員活動を通して、幅広く町民の皆さまの意見に耳を傾けることで、その重責を担ってまいり所存であります。

昨年は全国各地で、自然災害による被害が発生し、多くの方が犠牲にられました。本町においても、町民の皆さまが、引き続き、安全で安心して暮らせるよう、防災対策についても町政に提言してまいるほか、最重要課題でもある人口減少問題についても、人口動態や子育て支援町の活性化対策など、人口対策に係るあらゆる要因について、議会としても調査・検討し対応して参る所存であります。

結びに、皆さまにとりまして、本年が実りある良い年となりますよう、心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

議会組織が決定！

1月6日臨時会

議長に林一郎氏

副議長に土上猛氏を選出



林一郎議長（右）と土上猛副議長（左）

正副議長就任あいさつ

町民の皆さまには、日頃から宝達志水町議会に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび私たちは、平成27年1月6日に行われた臨時議会におきまして、議長、副議長に選任されました。身に余る光栄であるとともに、その責任の重大さを痛感しているところであります。

宝達志水町民の代表として議会の果たすべき役割を十分認識し、様々な課題の解決に向け最善を尽くし、本町の発展に誠心誠意取り組み所存であります。

今後とも、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします

議長 林 一郎

略歴 副議長、総務産業建設

常任委員長、教育厚生
常任委員長など。4期。
農業。66歳。

副議長 土上 猛

略歴 総務産業建設常任委員

長、議会改革特別委員
長など。2期。
元町職員。63歳。

議会組織

(◎は委員長、○は副委員長)

総務産業建設常任委員会

- ◎柴田 捷
- 杉本 久実男
- 北 信 幸
- 小 島 昌 治
- 金 田 之 治
- 林 一 郎

教育厚生常任委員会

- ◎久保 喜 六
- 寶達 典 久
- 近 岡 義 治
- 北 本 俊 一

議会運営委員会

- 守 田 幸 則
- 土 上 猛

広報編集特別委員会

- ◎北 信 幸
- 金 田 之 治
- 近 岡 義 治
- 北 本 俊 一
- 守 田 幸 則

中学校建設特別委員会

- ◎土上 猛
- 柴田 捷
- 北 信 幸
- 久 保 喜 六

病院運営特別委員会

- ◎金 田 之 治
- 柴田 捷
- 近 岡 義 治
- 土 上 猛
- 久 保 喜 六
- 寶 達 典 久

議会改革特別委員会

- ◎土上 猛
- 杉本 久実男
- 北 信 幸
- 金 田 之 治
- 柴 田 捷

ふるさと人口対策特別委員会

- ◎守田 幸 則
- 寶達 典 久
- 北 信 幸
- 金 田 之 治
- 北 本 俊 一
- 久 保 喜 六

町監査委員

- 近 岡 義 治

羽咋郡市広域圏事務組合 議会議員

- 北 信 幸
- 金 田 之 治
- 北 本 俊 一
- 守 田 幸 則

石川県後期高齢者医療 広域連合議会議員

- 林 一 郎

平成26年第4回 11月7日～14日

定例会

◎予算関係

○一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれに44万1千1千円を増額するもの。

主な歳入

・分担金及び負担金

411万2千円

(農業施設災害復旧費分担金など)

・県支出金

792万円

(農業災害復旧費補助金など)

・繰越金

325万7千9百円

(前年度繰越金)

主な歳出

・総務費

213万5千円

(新交通政策推進事業費)

・衛生費

665万円

(志雄病院事業会計繰出金)

・農林水産業費

399万2千円

(農業委員会事務費など)

・商工費

114万7千円

(ふるさと振興費)

・土木費

80万円

(県営事業負担金)

・消防費

49万6千円

(災害対策事務費など)

・教育費

55万1千円

(生涯学習センター管理費など)

・災害復旧費

288万4千円

(農業施設災害復旧費など)



被災状況(吉野屋地内)

債務負担行為の補正

○国民健康保険志雄病院事業会計補正予算(第2号)

資本的収入に665万円、資本的支出に1330万円を増額するもの。

継続費の補正

○国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

○介護保険特別会計補正予算(第3号)

○国民健康保険直営診療所特別会計補正予算(第1号)

○ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)

○水道事業会計補正予算(第1号)

○下水道事業会計補正予算(第1号)

いずれも、契約開始期間を年度当初としなければ支障を来す業務等について債務負担行為を設定するもの。(全員賛成)

○国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

新病院建設に係る実施設計の見直しに伴い、継続費の総額及び年割額を変更するもの。

債務負担行為の補正

契約開始期間を年度当初としなければ支障を来す業務等について設定するもの。(賛成10人、反対1人)

◎条例関係

○宝達志水町国民健康保険条例の一部を改正する条例(産科医療補償制度の見直しと併せて、出産育児一時金の金額を見直しするもの)(全員賛成)

○宝達志水町立図書館条例の一部を改正する条例(2館ある図書館を統廃合する必要があるため、所要の改正を行うもの)(賛成10人、反対1人)

- 指定管理者の指定
- ・集落センター等
- ・宝達志水町温泉施設
- (古墳の湯)

(全員賛成)



古墳の湯

◎報告関係

- 専決処分書(損害賠償の額を定め和解すること)

◎議会議案

- 宝達志水町議会委員会条例の一部を改正する条例(常任委員会の委員定数を各々6人とするもの)

(全員賛成)

◎平成25年度決算認定関係

- 一般会計歳入歳出決算(賛成10人、反対1人)
- 国民健康保険特別会計歳入歳出決算(賛成10人、反対1人)
- 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算(賛成10人、反対1人)
- 介護保険特別会計歳入歳出決算(賛成10人、反対1人)

- 国民健康保険直営診療所特別会計歳入歳出決算(賛成10人、反対1人)
- ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算(賛成10人、反対1人)
- 水道事業会計決算(賛成10人、反対1人)

(全員賛成)

◎計画関係

- 宝達志水町まちづくり計画(新町建設計画)の変更について

(賛成10人、反対1人)

- 下水道事業会計決算(賛成10人、反対1人)
- 国民健康保険志雄病院事業会計決算(賛成10人、反対1人)

(全員賛成)

第5回臨時会

11月28日

◎予算関係

- 一般会計補正予算(第5号)
 - 歳入歳出それぞれに21万6千円を増額するもの。
- 国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
 - 歳入歳出それぞれに11万円を増額するもの。

(賛成10人、反対1人)

- 国民健康保険直営診療所特別会計補正予算(第2号)
 - 歳入歳出それぞれに13万円を増額するもの。

- 国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
 - 歳入歳出それぞれに39万9千円を増額するもの。

(全員賛成)

- 8千円を増額するもの。

(全員賛成)

- 水道事業会計補正予算(第2号)
 - 収益的支出に36万円を増額するもの。

(全員賛成)

- 下水道事業会計補正予算(第2号)
 - 収益的支出から163万円、資本的支出から219万9千円を減額するもの。

(全員賛成)

- 国民健康保険志雄病院事業会計補正予算(第3号)
 - 収益的支出に400万円を増額するもの。

(全員賛成)

◎条例関係

- 宝達志水町議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例(期末手当の支給月数を0・15か月分引き上げするもの)

(賛成10人、反対1人)

- 宝達志水町常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

- (期末手当の支給月数を0・15か月分引き上げするもの)

(賛成10人、反対1人)

- 宝達志水町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例(期末手当の支給月数を0・15か月分引き上げするもの)

(賛成10人、反対1人)

- 宝達志水町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(勤勉手当の支給月数を0・15か月分引き上げするものなど)

(全員賛成)

◎予算関係(専決)

- 一般会計補正予算(第4号)
 - 歳入歳出それぞれに99万5千円を増額するもの。

(全員賛成)

質問 いっぴん

人口減少問題に対する施策は

町長

第2次宝達志水町総合計画に盛り込みたい



久保喜六

問

①人口減少問題に対しての当町の対策は
②子ども達の防犯について

答 町長

①現在、本町で実施している「若者定住バックアップ事業」は、町分譲地での住宅建築など、その成果はあると考えている。

今は、若者等が本町に定住を望む子育てしやすい環境づくりを重点に施策の展開を行うことが重要との考えから、総合的かつ効果的な事業の実施に取り組むこととし、条例の見直しは、他の制度を含め検討したい。

人口減少対策は、一町として取り組むには限界があり、国、県、市町村が挙げて取り組まなければ効果が上がらない大きな問題である。

本町では、厳しい財政状況であることから、例えば、魅力ある保育環境、

特色ある学校、高齢にな

っても安心して生活できる地域づくりの構築など、人と人とのつながりにより、その対策ができればとも考えている。

今後の具体的な対策は、平成27・28年度に策定する第2次宝達志水町総合計画の中で、総合的かつ計画的な施策として盛り込んでいきたい。

答 教育長

②防犯ベルの携帯を、小学校では全員、中学校では女子生徒を中心に所持するよう保護者に働きかけたい。

土、日、帰宅後の行動・外出については、防犯教育を充実させることで、児童生徒の防犯意識を高めるほか、運動会や各種大会において、引き続き警察に巡回を依頼していくなど関係機関との連携を強化し、保護者にもPTAの会合等を通じて注意喚起していきたい。

水道管の老朽化対策は

町長

計画的に老朽管の更新を着実に進めたい



杉本久実男

問

①少子化対策について
②水道管の老朽化対策について
③のと里山海道しおPAに当該道路第1号のコンビニ店などの誘致について

答 町長

①仕事と子育ての両立の負担感や子育ての負担感を緩和、除去し、安心して子育てができるような環境整備を進め、家庭や子育てに夢や希望を持つことができる町づくりの実現のため、これまで以上に既存の諸施策の充実・強化に取り組みしていきたい。

②順次更新が必要と考えているが、老朽化の他にも、浄水場、配水池の更新工事も必要となることから、水道施設の老朽化に伴う更新需要の増大が見込まれる。

また、人口減少や節水型の器具の普及等に伴い

料金収入が減少を続けることから、今後、厳しい経営が続くことが見込まれるが、将来にわたって町民に清浄で低廉な水を供給するため、時期を逸することなく、計画的に老朽管の更新を着実に進めたい。

③施設を設けるには敷地が手狭なことから、当地を拡張・造成して整備をしなければならぬ。しかし、その周辺は能登半島国定公園や保安林等造成するには制限を受ける区域で、誘致については県の関係部局と協議が必要となることから、十分な調査期間の中で検討していく。

なお、現在運営している事業者からは、売店の改装計画があるやに聞いており、当面はその計画の中で、町としても側面的支援を行い、これまで以上に町の知名度アップと観光客の増加を図りたい。



北本俊一

少子化対策、若者定住促進に対する 来年度に向けての予算と政策は

町政を問う

こども家庭室長

新規事業として「不育治療」、「保育所休日保育」、
「子育て短期支援事業」を考えている

問

- ① 少子化若者定住促進について
- ② 二級河川ハザードマップについて
- ③ 内水ハザードマップについて
- ④ よさこいソーランについて

答 こども家庭室長

① 来年度の新規事業として、流産などを予防する「不育治療」の助成、保護者アンケートで希望が多かった「保育所休日保育」の実施、夜間及び宿泊も可能な「子育て短期支援事業」を考えている。また、子どもの医療費を病院窓口一旦支払う「償還払い方式」から「現物給付方式」へ、第2子、第3子以降の保育料減免拡充を検討している。

答 地域整備課長

② 長者川、相見川、宝達川、前田川は「水位情報周知河川」として県の指

定を受けておらず、ハザードマップ作成の基となる「浸水想定区域図」は策定されていないが、氾濫注意(警戒水位)、水防団待機水位(通報水位)が設定され、公表もされてお

り、水防活動や住民避難の目安としている。③ 内水による浸水情報と避難方法に係る情報を住民にわかりやすく、事前に提供することは重要と考えるが、財政状況の厳しい本町での対応は難しい。

答 企画振興課長

④ 毎年三日間で、押水・内灘会場合わせて三万人以上の観客動員数があり、これだけ多くの人が集まるイベントは他になく、本町をPRする絶好の機会ととらえている。

開催に併せて、今後は

様々な趣向を凝らして町外からの来場者に対し、積極的な町のPRを行い、交流人口の拡大に努めていきたい。

押水運動公園野球場の廃止後の利用計画は

町長

「多目的運動広場」として有効活用したい



土上 猛

問

- ① 松くい虫防除対策について
- ② デマンドタクシーについて
- ③ 統合中学校の送迎を含めたバスの管理・運営計画について
- ④ 押水運動公園野球場の廃止に伴う利用計画について

答 町長

① 「のと里山海道」沿線の松林は県が主体となり、無人ヘリや地上からの薬剤散布、伐倒駆除により対策を行っている。県では、今後も「のと里山海道」沿い等の公益性の高い松林の防除対策を実施していくとしており、町も県と連携し、できる限り協力していきたい。

④ 来年度以降は、大人から子どもまでが自由に使える「多目的運動広場」として有効活用することで、町民の健康増進を図

りたい。

その整備は、経費等の面から、できるだけ既存の施設を活用することを基本とし、なるべく早いうちに取りまとめ、取り組んでいきたい。

答 企画振興課長

② 町民アンケート結果を受け、来年1月から2月にかけて羽咋方面や土曜日の試験運行を、4月からは本格運行を開始する計画である。なお、利用料金は改定せず、1人1回500円で運行する。

③ 統合中学校のスクールバスは、町民の新たな生活の足となるよう、朝夕のスクールバス以外の空き時間を利用し、町内の公共施設などを巡回するコミュニティバスとして利用する計画である。

小中学校の8台のスクールバスの運行は、外部委託を検討し、残りの3台のバスについては町直営の管理運営を考えている。

防犯灯、街灯のLED化に向けた取り組みを

町長

町内全域のLED化を検討している



寶達典久

問

- ① 防犯灯、街灯及び公共施設用照明のLED化について
- ② 自転車の安全利用とイベントの支援について
- ③ 民間団体の情報発信に町ホームページとケーブルテレビを活用することについて

答 町長

① 現在、補助事業による町内全域の防犯灯、街灯のLED化を検討している。この事業は、町が事業主体になることが必須であり、集落管理のものを町の管理下に置く必要がある。

また、10年間のリース契約となるので、その期間の維持管理は、全てリース会社が行い、故障した場合にも素早い対応が可能となる。

今後、事業化に向けて検討を重ねたい。

② 宝達山ヒルクライムの開催にあたり、町は本大

会の後援を引き受ける中で、様々な協力をしている。

大会のコースである主要地方道押水福岡線は、関係機関とも連携を取り、今後も安全面に配慮し、大会を開催してもらえよう協力していきたい。

③ 現在、主に行政情報を発信しているが、今後、民間団体の行事案内や会員募集等についても問題点を整理しながら、実施に向けて検討していきたい。

答 危機管理室長

② 小中学校の生徒は、町が実施している交通安全教室等で交通ルールを教えているが、保険加入状況までは調査していない。自転車の安全利用に関する条例は、今後、関係機関等とも協議を重ね、より良い対策を検討したい。

第2次宝達志水町総合計画策定の考え方は

町長

住民参画により計画していきたい



柴田 捷

問

- ① 第2次宝達志水町総合計画の策定について
- ② イノシシの駆除体制の構築について
- ③ 全国学力テストの成績公表について

答 町長

① 第2次宝達志水町総合計画では、健全財政を維持しながら身の丈に合った行政運営に努め、かつ、本町の地域特性や固有の資源を活かすとともに、

各種の政策課題に対して、自助・共助・公助を意識しつつ、住民と行政が協力し合いながら知恵を絞り、活気に満ちた、魅力ある、我がふるさとと、胸をはれるまちづくりを推進しなければならぬ。

策定にあたり、第1次総合計画の点検・評価を活かすとともに、幅広い年代層からの意見や提案を反映するための住民参画により、計画していきたい。

② 本年度の被害状況は、5月末で、水稲被害が町内5集落で約1.9ヘクタール、約2百万円である。

イノシシ対策に係る研修会、集落点検等は毎年開催しており、本年度はイノシシの習性、電気柵の設置、わなの設置場所、設置方法、エサなど捕獲する際のポイント等の研修会を実施している。

捕獲奨励金制度は、JAはくいも行うこととしており、今後は補助内容等の奨励金の見直しや申請の簡素化、重複防止などの検討を行い、更なる制度の充実を図りたい。

また、有害鳥獣駆除従事者の拡充は重要であり、郡市猟友会の意見も聴きながら、体制整備に努めたい。

答 教育長

③ 学校名を明らかにした学校別の公表は行わず、公表する内容・方法等、教育上の効果や影響等を考慮し行うこととする。



小島昌治

子ども医療費の「病院窓口無料化」の実施は

町長

子育て支援の強化、少子化対策の一環として検討したい

問

- ① 子どもの医療費「病院窓口無料化」（現物支給化）について
- ② 米価の暴落への対応について
- ③ 水道料金の引き下げについて
- ④ 国民健康保険税について
- ⑤ 福祉灯油の実施を

答 町長

① 県は条件付きで「現物給付方式」も認める施策に一部変更する。本町でも、これを機会に子育て支援の強化、少子化対策の一環として「子ども医療費・窓口無料化」を検討したい。

② 財政面や制度面等から、現時点での対応は考えていないが、国、県、JA等の動向を注視していきたい。

③ 県水の責任水量制や単価の問題について、毎年、受水市町である12市町が合同で県へ強く要望して

いる。

これまでの要望によって、昨年12月に谷本県知事が責任水量の見直しの検討を表明したことから、改めて責任水量の引き下げを要望し、これを受けて県では、現在、責任水量の引き下げを具体的に検討している。

また、現在の受給水協定では、一日最大受給水量が平成28年度から段階的に増えていくことから、少なくとも現行受給水量に凍結されるよう併せて要望している。

④ これまでの答えどおり、一般会計からの法定外の繰り入れは、現在のところ考えていない。

⑤ 今のところ「灯油購入助成」の実施は考えていないが、今後、円安など社会情勢の変化で灯油価格がさらに高騰した場合、国や県の対応などを見据え、また、県内市町の状況を踏まえた上で、支援の必要性について検討したい。

委員会ノート

第4回定例会会期中の審査内容

総務産業建設常任委員会

問 杉野屋地区で実施する急傾斜地緊急土砂災害

対策事業の工事内容は、

法面崩壊によって倒れた木を除去し、法面を整形する工事と、ふとんかご工法を用いた土留め工事を実施する予定。

答 デマンドタクシーのみ計画している。

問 地域公共交通として運行しているデマンドタクシーだけが羽咋病院へ乗り入れするのか。

スクールバスの空き時間には運行を予定する巡回バスは乗り入れしないのか。

答 自治体により様々であったり変わるのか。また農地台帳の管理方法を統一し、システム化する中で、全国における農地の遊休地情報などを検索できる。

問 農地台帳システムを新たに導入することで、どう変わるのか。

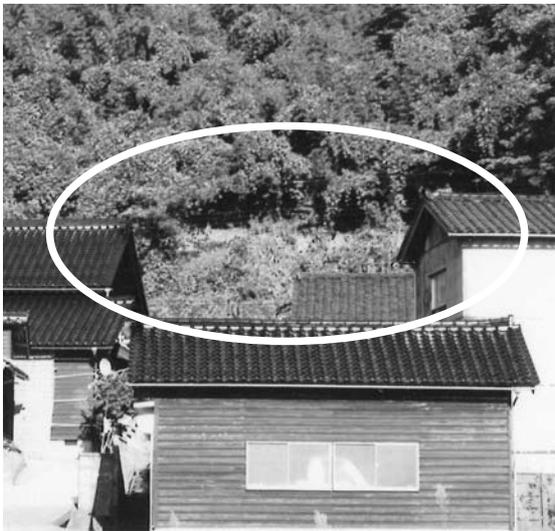
答 農地台帳の管理方法を統一し、システム化する中で、全国における農地の遊休地情報などを検索できる。

問 農地の認定は、現況で判断しているのか。それとも登記上の地目か。

答 現況で判断している。

問 集落センター等の管理運営に係る指定申請が無い集落というのは、

申請がない集落の集落センターは、集落が所有している施設であり、町所有ではないため、指定管理は行っていない。



被災状況（杉野屋地内）

教育厚生常任委員会

問 指定管理とした場合の集落での利点は。

答 独自の運営ができ、自由に使できる点が挙げられる。

問 町から管理運営費等はいくら出ているのか。

答 町では予算計上していない。各集落で負担していただいている。

はある。

問 全国で実施しているような方式で問題はないのか。

答 防犯設備や危機管理マニュアルを整備するほか、新たに案内係員の配置を予定している。

問 図書室に設置されている防犯カメラの録画はどのくらい保存されるのか。

答 一週間。

問 新たに設置を予定する案内係員の人選は。

答 身近な方を想定し、町シルバー人材センターに委託したい。

問 宝達中学校の図書室でも、県立図書館からの貸し出しは可能なのか。

答 県立図書館のみならず、県内どの図書館からも借り入れは可能。

問 移動図書館の地区巡回サービスは需要があるのか。

答 押水図書館の閉館に代わるサービス充実策として、押水地区の各集落を回りたい。

問 地区巡回サービスの実施を、志雄地区においても検討すべきでは。

答 押水地区の実施を優先するが、状況を見て志雄地区での実施も検討していきたい。

問 押水図書館の展示室は、希望があれば使用できるのか。

答 図書館の閉館に伴い、施設を貸し出しできない。

くなる。代わりにさくらドームやアステラスを使用していただきたい。

問 閉館した後、建物はどうするのか。

答 現時点では、用途は決まっていない。

問 閉館後の在り方について、地域の人や有識者を入れて早急に話し合う必要があるのでは。

問 用途は決まっていないとお答えしたが、基本的に、閉館後は早い時期での処分を考えている。

問 処分というのは。

答 譲渡、または取り壊し。

問 譲渡とは売払いなのか。要求があれば、現状のまま貸すのか。

答 今後、町有財産の管理担当課と協議しながら対応していきたい。

問 事前に、利用者に閉館を伝えたり、意見交換をする場を設けてもよかつたのでは。

答 公共施設統廃合計画や行財政改革等の資料を通じて、周知していると認識している。

問 周知は、何年も前に行われたものではないのか。

問 図書館条例を改正した後、住民にしっかりとした形でお知らせしたいと考えている。

問 図書館の取り壊しを再考してみても。

答 現状では閉館後の活用

方法が見当たらず解体予定としているが、新たな有効活用策が出てくれば使用していく場合もある。

問 指定管理者制度を導入している保育所で発生した事故であっても、町は損害賠償をしなればならないのか。

答 町の協賛事業中に発生した事故と捉え、保証の対象とした。

病院運営特別委員会

問 新志雄病院建設工事の設計見直しによる工期への影響は。

答 設計書の完成が当初の予定より約11か月遅れることから、建設工事の竣工についても約11か月遅れとなることを想定している。



押水図書館

中学校建設特別委員会調査報告

中学校建設は本町の重要課題との認識から、平成19年12月の第4回町議会定例会において中学校建設特別委員会を設置しました。

平成23年1月5日、正副委員長を互選し新体制での委員会を設置。前任の委員会調査報告書を継続し、執行部からの相談をうけ統合中学校建設に係る諸問題について検討してきました。

その結果、押水中学校、志雄中学校は共に、築40年以上の建物であり、耐震補強工事では対応できない建物であり、今後の児童生徒数の減少も考慮し、統合中学校を建設することとなりました。建設場所を決めるにあたり、町の財政状況では新たな建設地を購入できないため、町政懇談会や学校保護者説明会を通じて町民に説明を行い、町として最終的に敷地の規模や環境、周辺体育施設の活用、費用などから押水中学校敷地が適地と判断し、統合中学校の建設地に決定しました。基本設計業者を指名型プロポーザル方式にて採用決定し、基本設計及び実施設計を町執行部と十分なる慎重審議を重ね、平成25年9月20日に起工式を迎え、平成26年10月には念願の宝達中学校校舎が完成いたしました。その間、工事の進捗状況や内容確認のための現場視察を行ったり、統合中学校の校名となる宝達中学校の名称選定や、中学校準備委員会での協議事項、校歌の作成等の相談や報告を受け、委員会として執行部と共に協議をしてきました。

この委員会は、私どもの議員の任期と同じ平成26年12月までではありますが、まだ外構工事をはじめとした諸々の工事が残っています。平成27年1月より新たな議員任期が始まりますが、改めて中学校建設特別委員会を設置していただき、平成27年4月の宝達中学校開校を迎えるまで、工事をはじめ統合中学校に係る諸問題について検討していただくようお願い申し上げます。



完成した宝達中学校校舎

ふるさと人口対策特別委員会調査報告

人口対策は本町における最重要課題であり、子育て支援や定住対策、就業・居住環境など、人口対策に係るあらゆる要因について対応していくための調査を行うべく、平成26年9月の第3回町議会定例会においてふるさと人口対策特別委員会を設置しました。

限られた期間のなか委員会を3回開催し、今後、次の三項目を柱に調査・検討を重ね、その対応策を協議すればとの結論に至りました。

- 1 つめは、人口動態について
- 2 つめは、子育て支援について
- 3 つめは、町の活性化対策について

この委員会は、私どもの議員任期と同様、平成26年12月までであります。平成27年1月より新たな議員任期が始まります。その新たな任期において、改めてふるさと人口対策特別委員会を設置していただき、先の三項目を柱とし本町における人口対策について調査・検討し、その対応策を協議していただくようお願い申し上げます。

杉本久実男議員逝去



本町議会の杉本久実男議員が、平成27年1月12日に急逝されました。同議員は、宝達志水町杉野屋出身。平成25年3月18日から町議会議員を務め、平成27年1月から、総務産業建設常任委員会副委員長、議会改革特別委員会副委員長に就任していました。

北村環境副大臣に要望書を提出
議会運営委員会

町議会運営委員会は10月1日、北村茂男環境副大臣に「漂流・漂着物ごみ対策重点クリーンアップ事業の継続」を求める要望書を提出しました。

要望書は、平成27年3月の北陸新幹線金沢開業を迎え、今後ますます増加が見込まれる観光客等に対し、本町が保有する海岸線や千里浜なぎさドライブウェイの美しい砂浜を維持、提供できるように、事業の継続および充実強化や海岸漂着物対策の推進を盛り込んだ内容となりました。

要望には、北信幸委員長をはじめ委員4名と守田幸則議長、津田達町長が参加し、環境省の北村茂男環境副大臣室にて要望書を手渡し、事業の継続を強く訴えました。



北村茂男環境副大臣室にて

町議会日誌 10月～12月

【10月】

- 1日～2日 国会議員への要望
2日～3日 町村監査功労者表彰式・町村監査委員全国研修会
3日 長野県下諏訪町議会運営委員会来庁
5日 押水地区敬老会
7日～8日 決算特別委員会
9日～10日 県町村議会議長会臨時総会・能登地区行政産業視察
10日 中学校建設特別委員会
11日 蓮華山大相撲
14日 後期高齢者医療広域連合議会定例会
16日 宝達中学校校舍完成視察見学会
ふるさと人口対策特別委員会

【11月】

- 17日 議会運営委員会
18日 YOSAKOIソラン日本海本祭
19日 YOSAKOIソラン日本海本祭
20日～21日 定期監査
23日～24日 定期監査
24日 例月出納検査
27日 町議会全員協議会
ふるさと人口対策特別委員会
28日 広域圏事務組合例月出納検査、定期監査
2日 羽咋郡市戦没者慰霊祭
3日 町功労者顕彰式
6日 広域圏議会運営委員会
7日 議会運営委員会
10日 教育厚生常任委員会
11日 病院運営特別委員会
12日 総務産業建設常任委員会
石川北部RDF広域処理組合議会運営委員会
14日 議会運営委員会
19日 町議会定例会再開
小松・上海便就航10周年記念レセプション
20日 広域圏議会運営委員会
23日 町消防団第五分団消防ポンプ車入魂式
のと里山海道四車線化完成式
25日 例月出納検査
26日 石川北部RDF広域処理組合議会定例会
27日 広域圏事務組合例月出納検査
28日 議会運営委員会
町議会全員協議会
町議会臨時会

【12月】

- 2日 県町村議会議長会議長協議会
19日 渚会理事会
24日 広域圏事務組合例月出納検査
25日 例月出納検査

広報編集特別委員会

- 委員長 土上 猛
副委員長 柴田 捷
委員 北 信幸
委員 久保 喜六

能登地区町議会連絡会